

会 議 録

1 会議名

令和4年度第5回板倉区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

○報告事項

- ・中山間地域農業の維持・振興に向けたワークショップの開催状況と今後の展開について（公開）

○協議事項

- ・意見交換会について（公開）

3 開催日時

令和4年6月17日（金）午後6時00分から午後7時7分まで

4 開催場所

板倉コミュニティプラザ 201・202会議室

5 傍聴人の数

1人

6 非公開の理由

—

7 出席した者（傍聴人を除く。）の氏名（敬称略）

- ・委 員：平井達夫（会長）、古川政繁（副会長）、池田光男、小林政弘、植木節子、手塚哲夫、山本茂、西田節夫、田中睦夫、庄山健、吉田重夫、長藤豊（二人欠席）
- ・事務局：板倉区総合事務所 古澤所長、米川次長（総務・地域振興グループ長兼務）、一藁次長、関根産業グループ長、市村市民生活・福祉グループ長兼教育・文化グループ長、大堀建設グループ長、小池地域振興班長、橋詰主査、金井主任（以下グループ長はG長と表記）

8 発言の内容（要旨）

【米川次長】

- ・会議の開会を宣言

【平井会長】

- ・挨拶

【古澤総合事務所長】

- ・挨拶

【平井会長】

- ・条例第8条2項の規定により、半数以上の委員の出席を確認。会議の成立を報告。
- ・会議録の確認を池田委員に依頼。

4 「報告事項」 「中山間地域農業の維持・振興に向けたワークショップの開催状況と今後の展開について、事務局の説明を求める。

【関根産業G長】

- ・資料1 中山間地域農業の維持・振興に向けた地域自治区別ワークショップ（みらい農業づくり会議）開催状況及び今後の展開により説明。

【平井会長】

事務局の説明について意見・質問等がある委員の挙手を求める。

【長藤委員】

私もこのワークショップに参加していたが、このキャッチフレーズがその場で決まったものと違うような気がするが分かったら教えて欲しい。

【関根産業G長】

決定したキャッチフレーズで間違っていない。

ちなみに他のキャッチフレーズは、「板倉らしさである豊かな自然と人の良さ、歴史を活かして、ここだけのブランド商品の開発販売により、持続可能な農業を目指します」、もう一つは「板倉らしさである豊かな自然を活かして、外部人材や区民の協働により、他にはない特産物の開発を行うことにより、収入の確保・担い手確保・農業の継続を目指します」といったキャッチフレーズがあった。最終的には皆さんの投票により「板倉らしさである米とそばのおいしさを活かして、インターネットにより、板倉の農業を世界に広げます」というものに決定した。

【田中委員】

私も勉強不足の点もあるかと思うが、この話はこの地域協議会には初めて報告をされたと思うが、この時期にこれを報告する何か目的があるのか。

【古澤所長】

この事業は令和3年度から取り組んでワークショップを開いてきた。そこで意見交換して、ある一定の意見を集約して、中山間地の課題、今後続けていくための課題等、またこうした方がいいだろうという、いろいろな思いをまとめさせていただいたものである。これを令和4年度については、それをさらに実践に移していくための方策をどうしたらいいかというところである。中山間地域だけでワークショップを開いているが、この内容について地域全体、地域協議会の皆さんへ状況を報告することによって、地域の課題について、これから意見交換会に入っていくがその参考になればと思い、市としては3年間取り組んできた成果を地域協議会に報告しようということで報告させていただいた。

【田中委員】

その趣旨はいいと思うが、こういうスタートを切るときも、こういう風に今動いていますというような話は今まで一切なかった。この時点で今報告するのは何か目的があるのかということが理解できない。資料も今日もらったばかりなので、私も中身が全然、今グループ長から読んでいただいたが、皆さんも一緒に初めての資料をぱっと見て、1回説明して分かりましたという訳にはいかない。後で熟読しないと私も理解できない。事前に資料が欲しかったのと、今日の新聞にも載っていたが、我々の今の大きな課題としては来年度の地域活動支援事業に代わるものに取り組まなくてはならない。そのような重要なものがある中に、今回これが載っていた。もらった資料にあったが、どうなのかと私は疑問に思っていた。優先的に今取り組まなくてはならない事項がある。所長も仰ったが、6地区連協との意見交換会も来月予定されているので、その中でもいろいろな意見が出てくると思うが、来年度の地域活動支援事業に代わる地域の独自予算編成にかかる取り組み、時間がないわけなので、その辺をじゃあどうやって取り組んでいくのだという、いつも議論になっているが尻切れ蜻蛉で、市からの説明、しっかりとした方向性が見えないから、こういうような新聞沙汰にもなっている。その辺がこのまま進んで行ったら本当にできるのかと私もずっと疑問に思っている。このことが悪いのではない。優先的に取り組む中身がもっと違うところにある気がしたので、あえてこの時期にこれを説明したのは何かとそこが疑問であった。今後の進め方にも一つその辺をもっと協議

しながら進んで行きたいのと、事前に資料については配布を、1日前でも最悪しょうがないと思うが、目を通す時間くらいは欲しいと思うのでお願いしたい。

【古澤所長】

最初の取り組みの内容の説明がなかったというところだが、今回については今委員が仰られた内容を真摯に受け止め、今後しっかりとした説明を行いながら進めていきたいと思っている。この内容については、今日報告というかたちで参考になればと思っているが、令和4年度以降も続いていくので、機会を捉えながらまた報告をさせていただきたい。

【平井会長】

他に意見はあるか。

ないようなので、この件については以上とする。

協議事項に移る。まず意見交換会について、事務局の説明を求める。

【小池地域振興班長】

・資料2、3について説明。

本日は、各地区の担当委員の決定と、進行係と記録係の役割分担の決定をお願いしたい。なお、3部会の発表内容については、各部会長にお集まりいただき検討したいと考えている。内容については次回の会議を意見交換会前の7月14日に予定させていただき、その際にお示ししたいと考えている。

【平井会長】

事務局の説明に対し、質問、意見を求める。

【小林委員】

確認だが、当日の流れの中で時間配分をどのように考えているか。

【小池地域振興班長】

全体で1時間半程度という案内をしているが、報告で3部会あるのでそこで10分ずつくらいはかかると思っている。それから質疑応答があり、2番目の地域の課題についてのアンケートの報告を10分くらいと考えている。そうすると、それだけで1時間近くになってしまうのではないかと思う。それに意見交換で30分くらい、何か答えを導きだしたりするような会ではないので、気軽に発言していただけるような雰囲気に持って行って、いろいろな意見を出していただければと考えてい

る。時間配分としては事務局でそのように考えている。

【小林委員】

地域の課題のアンケートをとった結果について、見た限り道路や除雪災害対策については、年度当初の町内会長名で要望書を出す。この内容であれば十分解決できる、地域で解決できる課題であると、わざわざ町内会長が集まる会議で意見交換する内容ではない。だから、もう少し例えば素材提供して意見交換する。地域協議会としてはこういったものを1、2点みなさんから意見を聞きたいと。例えば地域振興なり活性化について意見を求めるなりしないと、時間があまりないので、例えば言葉は悪いが細かいところに時間を費やしたのでは時間ももったいない、有意義な意見交換にはならないので、もう少し例えば地域協議会としてこれからこういったものを自主的審議事項として考えていますと、そこまではいかないかもしれないが、何かテーマを皆さんに投げかけた方がいいのではないかと思う。これの中から、アンケートを取った中からその場で意見交換するのは、ちょっと時間的にどうなのか。スムーズに進行できるか。その辺が少し問題かなという感じがする。

【小池地域振興班長】

事務局としてもその辺が少し心配なところで、地域の課題について、たくさんいろいろなものを出していただいたが、これを1個1個取り上げているととても時間が足りない。そういったことで、今①に自主的審議事項の審議経過等について、②に地域の課題という順番にさせていただいたのだが、メインは今3つの部会で取り組んでいるテーマを、健康福祉部会であれば提案するような内容もまとまっているし、それから産業建設部会も取り組んだ内容について発表していただけたらと思う。地域振興部会は、今なかなか協議が深まらないところではあるが、地域の団体と意見交換をしている取り組みを発表していただいて、そちらの方に色々な意見をいただければと考えている。そちらがメインで、地域の課題についてはこの中から地域協議会が選んで出すというのも一つだと思うが、報告ぐらいで時間ギリギリになってしまうのではないかと正直そのようなかたちで考えている。

本日の協議の中で、進め方については皆さんで決めていただければ、ぜひそれで進めていきたい。

【古澤所長】

アンケートの中には市への要望的なものの中にはある。それについては、各地区で事前に各地区から出た意見に対して市の意見等を入れたものをお配りしようと考えている。そこは、時間は取らないで、もしどうしてもお話ししたいことがあれば、総合事務所に来ていただいて後でお伺いするというようにしたいと思っている。

【田中委員】

小林委員が言われたように、統一テーマ的に各校区、地区に共通の投げかけ的なものを、意見交換の話題として提供したほうがいいと思う。私の考えている一つは、我々地域協議会の意義、やっていること自体が地域に浸透していない。2、3日前から会議があることは防災無線で流している。それすら聞いている人が少ない。今日会議だからという、何の会議といわれるくらいに関心が薄い。ましてや地域協議会委員がどんなことをしているのかというのがあまり分かっていない。なので、地域協議会委員のメンバーの選び方、選出方法含めて、今ご存じのように若い人達はほとんどいない。女性も植木委員1人。こういう年齢構成というのも、各地区ごとに地域協議会委員の在り方そのものも、選出する中に考えていただく必要があると思う。あまり縛ってしまうとよくない、公募公選制という公の組織になっているので。しかし、6地区があるので最低でも各地区から1人は欲しいと思うし、豊原地区のように世帯数、人口割したら大きいところもあるので、そういうところも選出方法とかこんな考え方はどうかというような意見交換ができればと考えているが、例えば筒方地区、寺野地区に集まった中にその地区もやっぱり2人くらい出してほしいし、若い人も出してほしいよねと言ってもなかなか意見が出てこない可能性もあるが、共通のテーマとしてはその辺の投げかけ等もしてもらった方が、我々も1年半ちょっとしか任期がないので、次に向けての取り組みにもつながっていくのかなと考えるがいかがか。

【小林委員】

地域協議会そのものが、今色々な課題があって、先般も提言を市の方に受けている。議会の方から。そういった地域協議会の在り方についても、こういう風にやっているんだよと、やっぱり姿をきちんと示すべきだと思う。田中委員が言われたように、みんなで盛り上げていくような地域協議会、地域振興とか地域のためにどうというような意見交換をすべきか、あり方を検討すべき期間だと思う。皆さん関心あ

るのは地域活動支援事業がなくなりますということ。じゃあこれから市政にどうやって反映していくのかというのは、もっと興味を示すような何かを提供していかないとなかなか食いついてこないと思う。そういうのを意識して、いい機会なので問題提供、課題提供をすべきだろうと思う。

【小池地域振興班長】

今回連協の会長へ意見交換会をしたいと話したところ、地域協議会についてあまりよくお分かりになっていない方も正直いらっしゃった。地域協議会たより等も出しているが、もっとPRしなければいけないのかなと思ったところである。

報告①、②とあるが、その前に事務局から地域協議会とはというと大きくなるが、昨年度の取り組み等まとめた資料があるので、資料を用意して説明する時間を5分でもいただければ、させていただきたいと考えている。それから、意見交換のテーマだが、今回の意見交換の目的としては自主的審議事項の参考にしたいということである。自主的審議事項をなぜ行うかということ、市に対して何か意見書を出したり、元気事業に何か提案できるようなニーズとかそういったものを結びつけるようなものがあればということが目的だと思うので、地域協議会の目的とかそういったことよりも、地域の課題について何かテーマが絞ればと考えている。

【平井会長】

今ほど話があったとおり、地域協議会の任務とか目的とかいうものはなかなか浸透していないというのが事実だと思う。ましてや、町内会長自身もはっきり認識していないという意見もあった。それでいい機会なので、小池班長の方から話があったとおり、5分でも10分でも地域協議会の任務、役割というものをまずは話していただきたいと思う。候補的なのはいろいろと出ている。それはまた、時間があればそこまで踏み込んでもいいが、なかなか今のタイムスケジュールから見ると、時間がないと、1時間半ということになると今回はその辺を第一として説明してもらいたい。

【田中委員】

それは事務局ではなく、会長の挨拶の中に地域協議会の取り組んでいる中身等説明してもらえれば時間短縮にもなると思う。事務局で全部やるような中身でなくて、地域協議会として取り組んでいる実績とか、そういうところを必ず会長挨拶がある

のでその中で説明してもらえればアピールできるのではないか。

【平井会長】

ただいまそういった発言があった。先ほど、小池班長の方から説明すると話があったので、ぜひ入れていただきたいと私が話をしたが、皆さんの方で挨拶の中に入れるということになればやぶさかではないので、それは説明させていただく。

他に意見はあるか。

(意見なし)

次に6「その他」に移る。地域協議会だより編集委員会について庄山委員から報告をお願いします。

【庄山委員】

6月6日に編集委員会があり、今年度の編集長に互選され私が編集委員長に選ばれた。今年の協議会だよりの年間スケジュールは、6月、9月、12月、3月と合計4回発行する。

【平井会長】

他に事務局からなにかあるか。

【小池地域振興班長】

委員研修についての要望調査を配布させていただいた。昨年度は頸城区に伺い市民活動による観光の取り組みについて学んできたわけだが、今年度どのようなことをやったらよいかというところで、実施時期や内容についてアンケートを記入いただき、6月30日までに事務局へ提出いただきたい。

【平井会長】

- ・ 次回の地域協議会の日程等について確認

【古川副会長】

- ・ 挨拶

【米川次長】

以上で、第5回板倉区地域協議会を終了する。

9 問合せ先

板倉区総合事務所 総務・地域振興グループ

TEL : 0255-78-2141 (内線123)

MAIL : itakura-ku@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。